

蒲郡市における公共交通に関するアンケート調査について (ご協力のお願い)

市民の皆様には、日ごろから市行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。蒲郡市には、鉄道、路線バス、タクシー等の公共交通があります。

名鉄西尾・蒲郡線については、西尾市、名鉄とも協議し、現時点で、平成32年度までの存続が決定しています。

これらの公共交通を維持するために、名鉄電車へ年額9,900万円、路線バスへは年額4,000万円等を市が運行補助しています。また、平成27年から実験的に事業を開始しました「形原地区支線バス」へも年額420万円を補助しています。

タクシー割引制度にかかる市の負担額は年額約1,550万円で、電車、バスへの運行補助と合わせて、市は、年額約1億6,000万円を公共交通に支出しています。

(参考：周辺市の公共交通の実負担額)

市町村名	自治体の実負担額※1	人口※2	一人当たり事業費
蒲郡市	46,186 千円 (160,686 千円※3)	80,552 人	573 円/人 (1,995 円/人)
豊橋市	63,662 千円	374,398 人	170 円/人
豊川市	113,256 千円	183,074 人	619 円/人
新城市	70,684 千円	46,360 人	1,525 円/人
田原市	170,954 千円	61,598 人	2,775 円/人

※1：愛知県振興部交通対策課「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について」(平成28年5月調査)より

※2：愛知県「愛知の人口(県及び市区町村別推計人口及び要因別移動数)」(平成29年1月1日現在)より

※3：名古屋鉄道西尾・蒲郡線とタクシー割引助成制度への負担額を含む。

今後、高齢化が進むにつれて、車で移動できない方々が増え、公共交通の必要性も高まっていくものと思われます。

平成28年6月には、蒲郡市の将来の公共交通の姿を描く、「地域公共交通網形成計画」を策定し、交通政策・事業を実施しています。

こうした交通政策・事業に対するご意見をお伺いさせていただきたいので、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

平成29年●月 蒲郡市地域公共交通会議

回答にあたってのお願い

- 本調査は、蒲郡にお住まいの16歳以上の皆様から無作為に抽出した3,000人の方々に
対してお送りしております。なお、抽出データは平成29年●月●日現在のものです。
- ご回答内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用
することは一切ございません。
- 回答は、ご本人（あて名の方）がご記入ください。
- 質問毎に、あてはまる番号に○印をつけるか、()内に必要事項を直接ご記入ください。
- 本紙内側に「蒲郡の地域公共交通の実態について」、「蒲郡市のバス路線図」および「蒲郡
市の平成29年度当初予算」が掲載されていますので、ご回答の参考としてください。
- 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、**平成29年●月●日(●)
までにご投函**ください。なお、市役所新館4階総務部交通防犯課や庁舎1階の総合受付へ
お持ちいただいても結構です。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
蒲郡市役所 新館4階 総務部 交通防犯課
〒443-8601 蒲郡市旭町 17-1
電話：(0533) 66-1156 FAX (0533) 66-1183
担当：井本 博子

蒲郡の地域公共交通の実態について

別紙のアンケート調査票を通してあなた自身の意見をお聞かせください。

蒲郡市における地域公共交通の実態について整理しました。

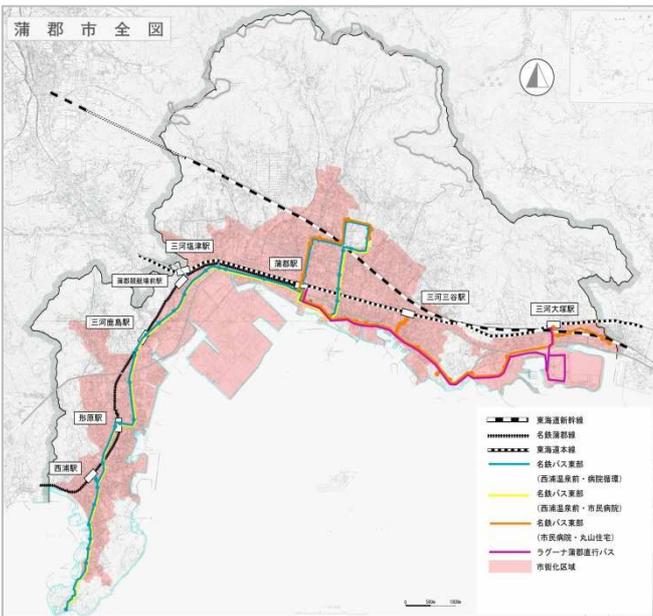
蒲郡市には、鉄道・路線バス・タクシーなどの公共交通が運行されていますが、実は、下記に示すように、年間約1.6億円の財政支援を行い維持しています。他市と比較しても決して少ない額ではありません。

これまで様々な取組を行ってきましたが、今後も、人口減少・少子高齢化が進展し、厳しい状況が続くものと予想しています。

地域公共交通を積極的に利用していただき、維持するためのご協力をお願いします。

年度	取組内容
H21.9	市民まるごと赤い電車応援団の結成
H22.5	高齢者タクシー運賃助成事業の開始
H25.3	蒲郡市地域公共交通会議の設置
H26.3	交通計画(地域公共交通総合連携計画)の策定
H26.11	ラグーナテンボス無料シャトルバスの運行開始
H27.4	形原地区あじさいくるりんバスの試験運行開始
H27.4	路線バスのダイヤ等の見直し
H28.1	三河地区のタクシー運賃の改定
H28.6	交通計画(地域公共交通網形成計画)の策定
H29.4	路線バスのダイヤ等の見直し(一部減便)

○蒲郡市の地域公共交通



蒲郡市には、鉄道、路線バス、コミュニティバスなどの地域公共交通が運行されています。これら以外にも、ラグーナのシャトルバス、タクシーなどの移動手段も運行されています。



鉄道(名鉄西尾蒲郡線)



路線バス(名鉄バス東部)



形原地区あじさいくるりんバス

○周辺市の公共交通の実負担額の状況

市町村名	自治体の実負担額※1	人口※2	一人当たり事業費
蒲郡市	46,186千円 (160,686万円※3)	80,552人	573円/人 (1,995円/人)
豊橋市	63,662千円	374,398人	170円/人
豊川市	113,256千円	183,074人	619円/人
新城市	70,684千円	46,360人	1,525円/人
田原市	170,954千円	61,598人	2,775円/人

※1: 愛知県振興部交通対策課「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について」(平成28年5月調査)より

※2: 愛知県「愛知の人口(県及び市区町村別推計人口及び要因別移動数)」(平成29年1月1日現在)より

※3: 名古屋鉄道西尾・蒲郡線とタクシー割引助成制度への負担額を含む。

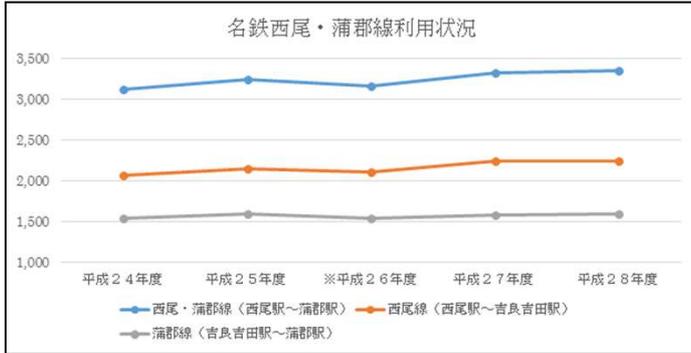
蒲郡市の地域公共交通の利用実態

蒲郡市内の地域公共交通の利用実態を調べてみました。鉄道は長期的には減少傾向にあったものが、最近になっておちついている状況です。路線バスは一部路線で激減しました。交通空白地域に新たに運行を開始した形原地区あじさいくるりんバスは、利用者数が増加しました。

こうした地域公共交通は全て赤字で、税金を投入して維持しています。利用者数の増加による運賃収入が拡大できないと、維持し続けることができません。

○名鉄西尾・蒲郡線の利用状況

・利用者は微増です。



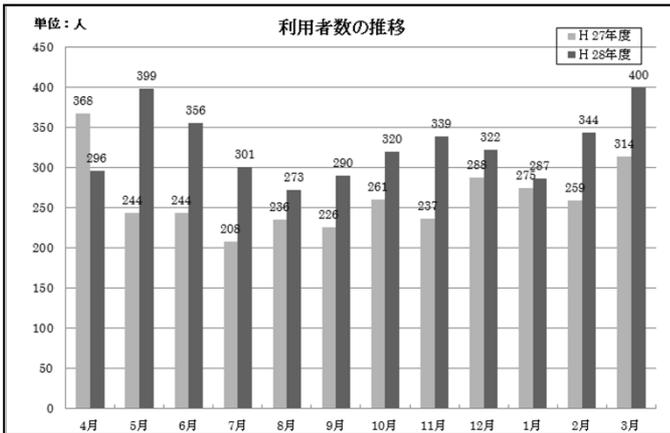
○路線バスの利用状況

・一部路線で利用者数が激減し、減便しました。



○形原地区あじさいくるりんバスの利用状況

・新たに運行開始。地域の協力で増加。

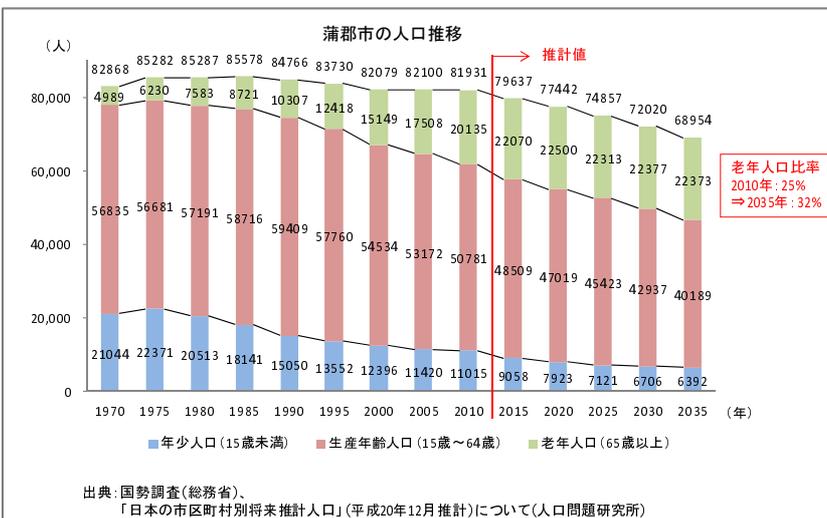


○高齢者タクシー運賃助成の利用者数の推移

・運賃値上げの中、利用者が増えています。



○人口減少・高齢者の増大



蒲郡市の人口推計

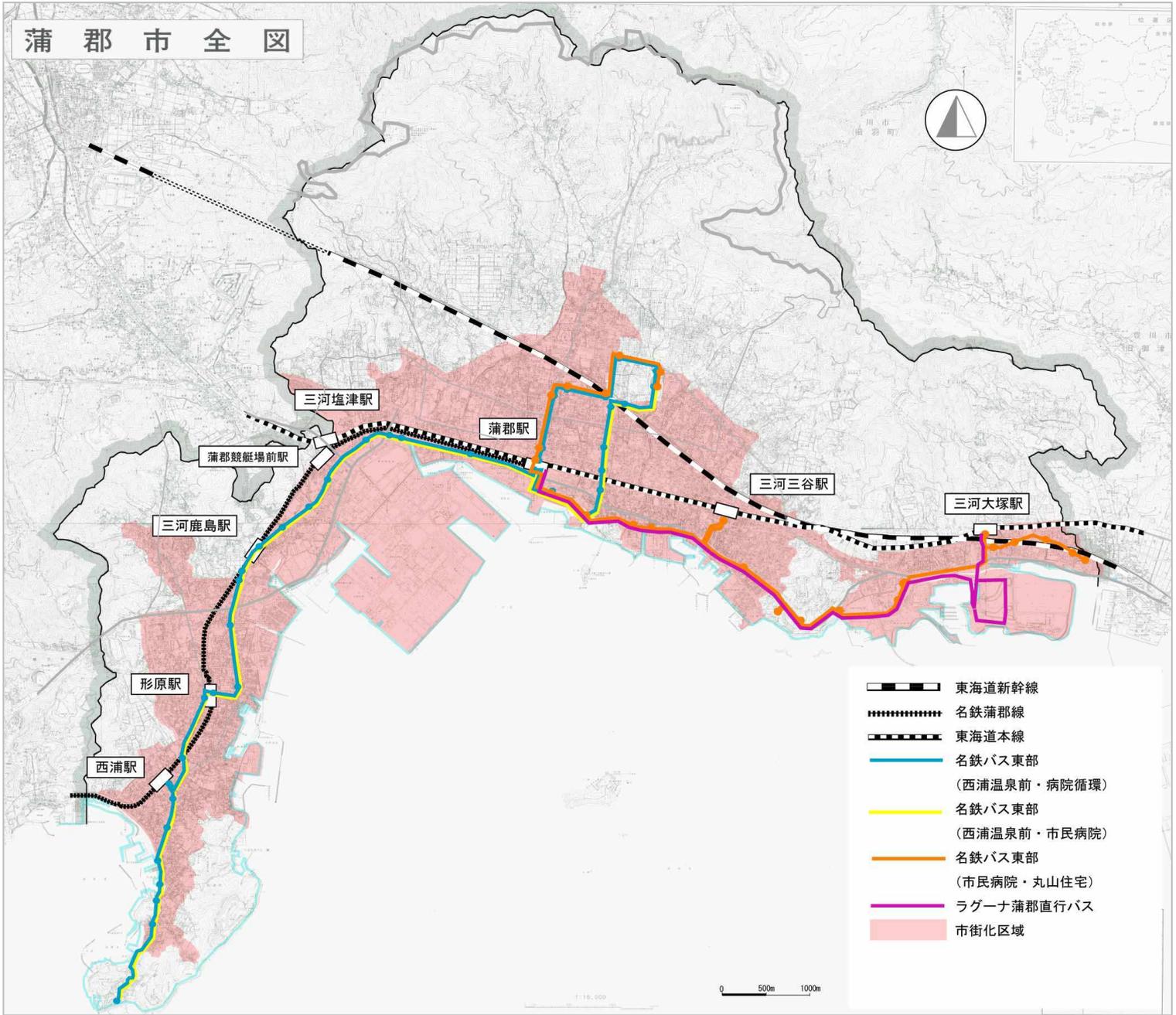
人口減少、少子高齢化が進展する。

地域公共交通の必要な、高齢者は減少せず拡大していく。

地域公共交通による人口カバー率(参考)

項目	人口(人)	備考
蒲郡市総人口	82,249	平成22年国勢調査
公共交通機関カバーエリア人口	62,101	駅からの半径1km、バス停から半径300m
人口カバー率	75.5%	

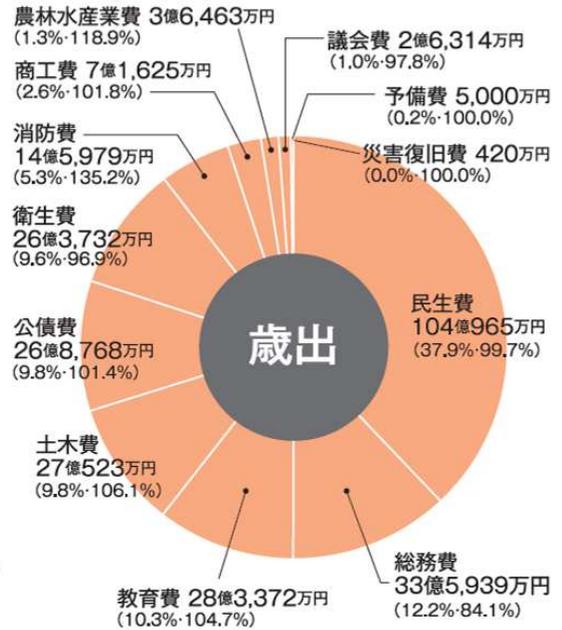
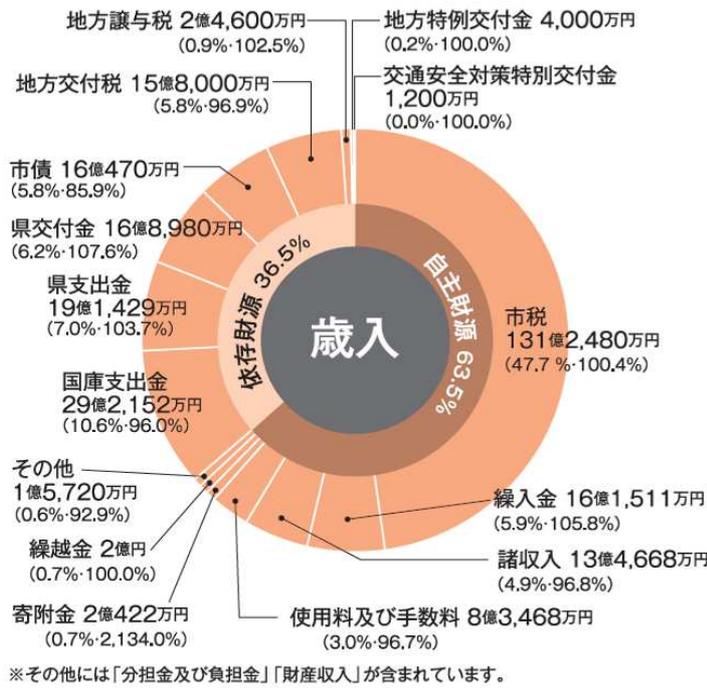
■蒲郡市のバス路線図



■蒲郡市の平成29年度当初予算

一般会計 274億9,100万円 前年度比100.0%

(構成本・前年度比)



出展：広報がまごおり平成29年4月号

予算の主な使いみち

地方創生推進事業 (観光のまち蒲郡のPR等)	2,410万円
セーリング大会事業	3,069万円
ユトリーナ蒲郡利用助成事業	400万円
運動サポートセンター運営事業	684万円
救助工作車の購入	1億3,000万円
塩柄園地公衆トイレ整備事業	3,736万円
立地適正化計画策定事業 (まちづくり計画)	750万円
建築物除却事業費補助金	200万円
外国語教育推進事業	1,743万円
文化公演事業(コンサート等)	318万円

(広報がまごおり平成29年4月号掲載)

蒲郡市が年収500万円の家庭だったら

収入		合計	500万円
給料(市税)	239万円	(238万円)	
パート収入(使用料・手数料など)	16万円	(16万円)	
家賃収入など(財産収入)	2万円	(2万円)	
親からの仕送り (地方交付税・国・県支出金など)	153万円	(153万円)	
貯金の取り崩し(繰入金)	29万円	(28万円)	
銀行などからの借入金(市債)	29万円	(34万円)	
雑収入(諸収入など)	32万円	(29万円)	
支出		合計	500万円
食費(人件費)	101万円	(101万円)	
医療費(扶助費)	102万円	(98万円)	
光熱費・通信費など (物件費・補助費など)	130万円	(132万円)	
子供への仕送り(繰出金)	65万円	(65万円)	
家・車・電化製品の修理・買い換え (維持補修費・普通建設事業費)	50万円	(55万円)	
借入金の返済(公債費)	49万円	(48万円)	
貯金(積立金)	3万円	(1万円)	
借入金・貯金の残高(年度末現在高)	借入金	貯金	
平成28年度	421万円	38万円	
平成29年度	406万円	17万円	

※借入金…市債残高 貯金…財政調整基金残高

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上
お住まいは？ 町単位です。	1: 相楽町 2: 大塚町 3: 海陽町 4: 三谷町 5: 三谷北通 6: 平田町 7: 豊岡町 8: 五井町 9: 水竹町 10: 清田町 11: 坂本町 12: 神ノ郷町 13: 府相町 14: 新井形町 15: 蒲郡町 16: 堀込町 17: 新井町 18: 八百富町 19: 神明町 20: 本町 21: 上本町 22: 中央本町 23: 元町 24: 宝町 25: 御幸町 26: 宮成町 27: 緑町 28: 旭町 29: 丸山町 30: 竹島町 31: 松原町 32: 港町 33: 栄町 34: 柏原町 35: 竹谷町 36: 西迫町 37: 拾石町 38: 鹿島町 39: 浜町 40: 一色町 41: 金平町 42: 形原町 43: 形原町北浜 44: 形原町春日浦 45: 西浦町 46: その他 (_____)
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 (_____)
自動車免許は お持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車は お持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学 含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

1: 1週間のほぼ毎日	2: 平日はほぼ毎日	3: 週に3～4日
4: 週に1～2日	5: 1ヶ月に数日	6: 年に数日
		7: その他

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

	外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)	その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)
「通勤・通学」 の場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: 形原地区あじさいくるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()
「買い物や 娯楽」 の場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: 形原地区あじさいくるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()
「病院や 福祉施設」を 利用する場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: 形原地区あじさいくるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()

(3)主なバスの利用目的をお答えください。(2つまで○)

- | | | | | |
|-----------------|------------|---------------|----------|----------|
| 1: 通勤 | 2: 通学 | 3: 買い物 | 4: 塾・習い事 | 5: 趣味・娯楽 |
| 6: 通院 | 7: 福祉施設の利用 | 8: その他公共施設の利用 | | |
| 9: その他(_____) | | | | |

**問4-2. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、満足していますか？(1つに○)
また、その満足・不満の理由をお答えください。**

- | | | |
|----------------------|---|---|
| 1: 満足 | } | ↓ |
| 2: おおむね満足 | | |
| 3: やや不満 | } | ↓ |
| 4: 不満 | | |
| 5: バスを必要としない (わからない) | | |

満足な理由は？(3つまで○)

不満な理由は？(3つまで○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1: 目的地に直接行ける | 1: 目的地に直接行けない |
| 2: 目的地まで早く行ける | 2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる) |
| 3: 自宅から停留所までが近い | 3: 自宅から停留所までが遠い |
| 4: 乗りたい時間に運行している | 4: 乗りたい時間に運行していない |
| 5: 運賃が安い | 5: 運賃が高い |
| 6: 座れる | 6: 座れない |
| 7: 時間通りに来て予定が組みやすい | 7: 時間が読めない。予定が組みにくい |
| 8: 利用方法が簡単 | 8: 利用方法を知らない・難しい |
| 9: バス以外に交通手段がない | 9: 車などのバス以外の交通手段がある |
| 10: その他(_____) | 10: その他(_____) |

問5. 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問5-1. 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは名鉄・西尾蒲郡線をどの程度利用されますか？(1つに○)

- | | | |
|----------------------------------|-----------|-----------|
| 1: 週に3日以上 | 2: 週に1~2日 | 3: 1ヶ月に数日 |
| 4: ほとんど乗らない (次頁の問5-2へ) | | |

(2)あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用する理由」をお聞かせください。

(問5-1で、1~4を選択した人) (あてはまるものすべてに○)

- 1: 目的地に行くのに便利
- 2: 自宅から駅までが近い
- 3: 乗りたい時間に運行している
- 4: 運賃が安い
- 5: 名鉄が最も速い交通手段である
- 6: 名鉄以外に交通手段がない
- 7: 車を持っていない(運転できない)
- 8: その他(_____)

(3)名鉄西尾・蒲郡線の主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

- 1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
- 6: 通院 7: 福祉施設の利用 8: その他公共施設の利用
- 9: その他(_____)

問5-2. 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない人にお伺いします。

(1)あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由」をお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 行きたい場所に名鉄が通っていない
- 2: 行きたい時間に名鉄が運行していない
- 3: 自分で車を運転できるから
- 4: 家族の人が車で送迎してくれるから
- 5: 駅まで遠い
- 6: 電車の乗り降りや外出するのが負担
- 7: 運行本数が少ない
- 8: 運賃が高い
- 9: 目的地まで時間がかかる
- 10: 目的地まで遠回りする
- 11: 始発の時間が遅い
- 12: 最終の時間が早い
- 13: 吉良吉田駅で乗り継ぎがあり不便
- 14: バスなどとの乗り継ぎが発生し不便
- 15: 時刻表がわからない
- 16: 鉄道の利用方法がわからない
- 17: その他(_____)

(2)あなたが名鉄西尾・蒲郡線を利用するためには、どのような改善を望みますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 自宅から最寄り駅までのバス等の公共交通を運行してほしい
- 2: 駅周辺に駐車場や駐輪場を整備してほしい・・・駅名は?(_____)
- 3: 電車の運行本数・運行時間を見直してほしい
- 4: マナカの導入など駅舎環境を整備してほしい
- 5: 平成32年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい
- 6: 特に改善は求めない
- 7: その他(_____)

問5-3. 蒲郡市では、各種団体や市民の皆さんと一緒に「名鉄西尾・蒲郡線」の利用促進を図っています。こうした活動について、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 1: 生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい
- 2: 路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき
- 3: 廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき
- 4: 廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき
- 5: 路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続すべき
- 6: 利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき
- 7: その他（_____）

問5-4. 名鉄西尾・蒲郡線は、後述のバス路線図で示すように、民間の路線バスが名鉄と並行してルートが設定されています。

現状、名鉄にも路線バスにも税金投入を行い、維持している状況です。

名鉄と路線バスの相互に利用者が乗り換えて、お互いの利用者増加に貢献している一方で、利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性もあります。こうした状況に対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれの考えで運行している事業であるため、事業者に任せておけばよい
- 2: 名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい
- 3: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）
- 4: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき
- 5: 税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準から向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき
- 6: 名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 7: 路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 8: どんな対応をすべきかわからない
- 9: その他（_____）

問6-4. 蒲郡市内の「民間の路線バス」は、運賃収入だけでは運行できないため、税金を投入して維持しています。

これら「民間の路線バス」は、走行している路線により、利用者数や運賃収入、周辺の居住者数などに違いがあるため、路線ごとに投入する税金の額が異なっています。この違いに対して、あなたの考えに近いものすべてを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき
- 2: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき
- 3: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき
- 4: 一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき
- 5: 駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などせず、現状のまま維持すべき
- 6: その他(_____)

問6-5. 改めて、財政投入に対するあなたの意見をお伺いします。

鉄道・路線バス・支線バス等を維持するために年間約1億6,000万円の税金を投入しています。この投入額を、どう思いますか？(1つに○)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-6. 「蒲郡市内の路線バス」を維持するために年間約4,000万円の税金を投入しています。この税投入額をどう思いますか？(1つに○)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-7. 蒲郡市内の鉄道やバスの維持のため、今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)のあり方について、どのように考えるべきですか？(1つに○)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
- 3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 4: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 5: 現在行われている民間のサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 6: 税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
- 7: わからない。
- 8: その他(_____)

問6-8. 別紙、挨拶文「ご協力のお願い」の「蒲郡市のバス路線図」をご確認ください。
蒲郡市は、鉄道駅やバス停留所から遠く、鉄道や民間の路線バスの利用が難しい、山間部等の「交通空白地域」を抱えています。
あなたは、こうした「交通空白地域」に対して、どのような対策を講じる必要があると思いますか？ あなたの考えに近いものすべてを選んでください。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1: 民間のバス事業者が対応しないところだから、交通空白地でもやむを得ない
- 2: 交通空白地域であるので、財政を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき
- 3: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、枚数の制限をなくして配布すればよい
- 4: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい
- 5: 地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい
- 6: 居住場所は個人の問題であり、家族・親類が助ければよく、特に対応する必要はない
- 7: 民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても)交通空白地域をなくすよう路線をつくるべき
- 8: その他 (_____)

問6-9. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。
あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに○)

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う
 ※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？
 ㊦) 60～64歳 ㊧) 65～69歳 ㊨) 70～74歳 I) 75～79歳
 ㊩) 80～84歳 ㊪) 85～89歳 ㊫) その他(歳)
- 4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

問7. バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バスを利用する人（当てはまらない人）は、次の問8にお進みください。

問7-1. あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに○）

- | | | |
|-------------------|-------|----------------|
| 1: ある | | 問7-2を回答ください |
| 2: 自宅の近くにバス停留所はない | } | ...問7-3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問7-2. 上記問7-1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バス停留所まで遠い | 4: バスの乗り降りや外出するのが負担 |
| 5: 行きたい場所にバスが通っていない | 6: 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7: 運行本数が少ない | 8: 運賃が高い |
| 9: 目的地まで時間がかかる | 10: 目的地まで遠回りする |
| 11: 時刻表通りに来ない | 12: 目的地への到着が遅れる |
| 13: 始発バスの時間が遅い | 14: 最終バスの時間が早い |
| 15: 帰りに利用できるバスがない | 16: 乗り継ぎが不便 |
| 17: 時刻表やルートがよくわからない | 18: バスの乗り心地が良くない |
| 19: その他（_____） | |

問7-3. 上記問7-1で、2・3を選択した、近くにバス停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くに、条件に合ったバス(路線)が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

- | | | |
|-------------------|---|----------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | } | ...問7-4を回答ください |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | | |
| 3: 利用しない | | |

※利用しない理由は？.....(問8へ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ア) 自家用車で移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ウ) 徒歩や自転車がある | ロ) その他（_____） |

問7-4. 条件が合えば利用すると回答された方にお伺いします。

(1)「**運行本数**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 1時間毎に1本程度運行するなら利用
- イ) 30分毎に1本程度運行するなら利用
- ウ) 15分毎に1本程度運行するなら利用
- エ) 運行本数は関係ない(判断条件にはならない)
- オ) その他(_____)

(2)「**運賃**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 市内の今のバスの運賃と同じ程度であれば利用
- イ) 市内の今のバスよりも安い運賃であれば利用
- ウ) 距離で変動しない「定額運賃」であれば利用
- エ) 運賃は関係ない(判断条件にはならない)
- オ) その他(_____)

(3)「**目的地までの所要時間**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用
- イ) ルートの設定から遠回りになるのはしかたがないので、その分の時間なら利用
- ウ) 所要時間は関係ない(判断条件にはならない)
- エ) その他(_____)

(4)「**車両の形状**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 一般的な「バス」車両であれば利用(車いすやバリアフリーは対応)
- イ) ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能
- ウ) 一般的な「タクシー」車両を活用したセダンタイプの後部座席でも利用可能
- エ) 車両の形状は関係ない(判断条件にはならない)
- オ) その他(_____)

(5)ダイヤ(時刻表)に設定された時間に必ず運行する方法を「**定時運行方式**」と呼びます。「**運行方式**」に関して条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 自分が利用したい時間帯に必ず運行している定時運行方式なら利用
- イ) あらかじめ「予約」する方法でもかまわない(不定期運行方式)
(利用者がいなければ、運行しないで済むためコスト削減が可能な方式)
- ウ) 運行方式は関係ない(判断条件にはならない)
- エ) その他(_____)

(6)バスを利用することが考えられる目的は何ですか？

①通勤・通学、②買い物・娯楽、③病院(通院)④その他 それぞれについて、その目的の目的地(場所)、利用頻度について回答ください。

例：③病院には、蒲郡地区に1ヶ月に数日利用する場合

		回答例 ③ 病院	① 通勤 通学	② 買い物 娯楽	③ 病院 (通院)	④ その他
目的地の 場所は？ (1つに○)	1: 大塚	1	1	1	1	1
	2: 三谷	2	2	2	2	2
	3: 蒲郡	③	3	3	3	3
	4: 中部	4	4	4	4	4
	5: 塩津	5	5	5	5	5
	6: 形原	6	6	6	6	6
	7: 西浦	7	7	7	7	7
	8: 市外	8	8	8	8	8
外出する 頻度は？ (1つに○)	1: 1週間のほぼ毎日	1	1	1	1	1
	2: 平日はほぼ毎日	2	2	2	2	2
	3: 週に3～4日	3	3	3	3	3
	4: 週に1～2日	4	4	4	4	4
	5: 1ヶ月に数日	⑤	5	5	5	5
	6: 年に数日	6	6	6	6	6
	7: ほとんど行かない	7	7	7	7	7

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、平成29年●月●日(●)までに投函してください。